

令和5年度 第1回 学校運営協議会 議事録

記録: 渡邊

■日時: 令和5年5月13日(土)14:00~16:00

■場所: 小金井第四小学校 会議室

■出席者: 新保 佳子 会長 山口 縁 副会長 天野 達彦 委員 日下部 順子 委員
 淵上 直美 委員(地域学校協働活動コーディネーター) 前田 剛 委員
 諏訪 伊都子 小幡 聖

■欠席者: 杉山 雅楽子 委員 杉山 孔宏 委員 森 一格 委員

1 校長より 着任のあいさつ及び自己紹介

2 委員の確認及び自己紹介

3 会長より

- ・コミュニティ・スクール発足1年目についてはコミュニティ・スクールの機能が手探り状態であった。
- ・2年目となる今年度は、まずコミュニティ・スクールの役割を明確に認識することを目標としたい。
- ・具体的には「地域学校協働活動」と「学校運営協議会」が両輪となって十分に機能する事を目指す。

4 学校より

○コミュニティ・スクールの活動内容について (副校長)

- ・昨年度と同様に手引きを配布。本委員会の活動の基準としてもらいたい。

○学校経営方針について (校長)

- ・学校説明会で使用した資料添付
- ・学校教育目標「つよく かしこく あたたく」は長く引き継がれている教育目標である。今年度は特に「あたたく」を重視した。
- ・多様性と調和の時代において様々な人と手を取り合いながら生き抜くことができる子供を育てたい。
- ・学校職員には、自分たちで課題を発見し、チームで主体的に解決することを目標としたい。
- ・本校は ICT 機器活用による授業改善に遅れがあると感じている。学習内容によって ICT 機器活用による効率性を生かして学習効果を高められるよう授業改善を図りたい。「書くことは考えること」と捉えているため、小学生においては自らの手で書く学習は重要と捉えている。ICT 機器の活用が効果的な学習(意見交流や発表、ドリル学習など)を見極めていきたい。

○学校運営協議会について (校長)

- ・校長が示す学校経営方針の承認、学校運営への助言、教員任用に関して意見を述べるができる権限がある。
- ・小金井市の CS 委員の任期は2年。参加者の上限は15名。これは自治体によって異なる。
- ・この会議は地域住民に傍聴権があるため、事前に傍聴の要望があれば公開する。

○PTAについて (校長)

- ・PTA 会員を辞退する人数が増加している。それは何故かということを考え、「PTA の活動の負担感を減らして満足度を上げる」ことを目標としたい。
- ・温かい地域性を生かした活動を今後も展開したい。特に防災に関する活動への参画体制は進んでいる。
- ・この度の学校公開における二次元バーコードによる受付は、双方の負担減となり効果的であった。今後の学校行事等でも ICT 機器の活用を進め、PTA のボランティア活動の軽減につなげたい。

○令和5年度の学校評価について (校長)

- ・「保護者が相談しやすい学校」を目指す。評価アンケートの項目にもある。
- ・全国学力調査の結果が夏に返却されるが、それを分析した上で授業改善推進プランを策定し授業に生かす。
- ・PTA 活動の何が負担となっているのか、保護者アンケートを通して分析したい。また、地域協働活動に協力を依頼しながら業務を精選したい。満足度を上げるための見直しを図りたい。
- ・学校の様子を週に一回はホームページにアップロードし、保護者や地域の方に継続した情報発信をめざす。



○予算について（副校長）

- ・令和4年度の会計報告と令和5年度の計画について資料配布し、説明。
- ・値上がりしているものもあるが、適正に執行していきたい。

○令和5年度の行事予定について（副校長）

- ・令和5年度の年間行事予定を配布。
- ・移動教室、運動会、舞台発表などの説明。先日の地震など、様子を注視しながら進める必要がある。
- ・コロナ対応下の体制を継続するか変更するか、夏休み明けには提示したい。
- ・令和5年度の学校運営協議会の予定を紙面にて確認。開催時刻を 14:00～16:00 に固定。基本的には土曜日開催。
- ・運動会で来校者が休憩できるエアコンの効く部屋を設置してほしいという要望があり、今年度検討する。

○令和5年度の本校職員の紹介（校長）

5 意見交流

- ・故障中のクロムブックが空き教室に複数台置かれていたが、子供たちの学習に影響はあるか。
→(副校長)子供たちの使い方に問題がなくとも、タッチパネルが経年劣化により故障が多くなるようである。
市内全体で同じような状態が発生している。
- ・修理予算はどこから出ているのか。
→(副校長)市の予算から捻出されている。
- ・教員の人事に「公募」というものがあることを初めて知ったが、それは特別支援に限ったものか。
→(副校長)自治体ごとに希望する教科・職層を募る制度であって、通常学級担任も採用している。
初任者は公募を活用することはできないが、特別支援は公募募集を行うことができる。
小金井市教育委員会は、面接と論文によって採用している。
コミュニティ・スクール公募といって、本校に限定した募集もできる。学校運営協議会で教員任用に関して「こういう人をとったほうが良い」を発信できるということは、そういうことである。
- ・運動会のPTAによるボランティア活動を、地域協働活動によるお手伝いとしてできないか。
→PTA本部と地域協働活動コーディネータとの話し合いを行う。次回に具体案の提案をもって審議する。
- ・貫井遺跡に触れる学習活動を期待する。実体験によって学ぶことはたくさんある。
- ・ICT 機器は安心して使用できるような体制整備を期待する。
- ・地域自治会の加入者も少なくなっている。その理由としてメリットがないからというのがある。
PTAも自治会も「助け合う」気持ちを大切にしていきたいと思う。
- ・学校公開において、参観者の話し声が気になった。教室に入れなくて廊下で参観する保護者が多いこともある。保護者のマナー遵守も大切だが、子供の机が後ろまで配置されている教室もあった。教室に入れるような工夫も必要である。
- ・学校便り5月号の巻頭言から、子供たちの下駄箱を確認した。だいたいできており、良い取り組みであった。

6 まとめ

- ・令和5年度 学校経営方針について 承認
- ・令和5年度 学校評価について 承認
- ・令和4年度会計報告及び、令和5年度予算案について 承認
- ・運動会ボランティアについて 次回提案

7 事務連絡

- ・第2回学校運営協議会 7月24日(月) 14時から16時 場所:四小 会議室

